

全国育樹祭の概要について

全国育樹祭は、皇族殿下の御臨席を仰ぎ、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、1977年（昭和52年）から、※全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、公益社団法人国土緑化推進機構と開催県の共催で毎年秋に行われている国民的な行事である。

※ 全国植樹祭
天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、昭和25年から毎年春に開催されている。
両陛下によるお手植え、お手播きや参加者による記念植樹、各種表彰などが実施される。

【全国育樹祭行事】

① お手入れ行事

天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れする、「継続して森を守り育てていくこと大切さ」を象徴する行事（枝打ち・施肥）



お手入れの様子（令和6年 福井県開催）

② 式典行事

全国育樹祭の中心行事として、県内外から多くの参加者をお招きし、皇族殿下のお言葉をはじめ、緑化功労者等の表彰や緑の少年団の活動発表、大会宣言等を実施



式典行事の様子（令和6年 福井県開催）

【関連（記念）行事】

① 全国緑の少年団活動発表大会（交流集会）

県内及び全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、日頃の活動について発表
また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を実施

② 森林・林業・環境機械展示実演会

全国の林業機械メーカー等による最新機械の展示実演などを実施

③ 育林交流集会

林業関係者はもとより、次世代を担う大学生や高校生、ボランティア団体など、幅広い参加により、森林・林業が直面する課題等をテーマに基調講演やパネルディスカッションなどを実施